



SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2010~2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

RIテーマ BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

クラブテーマ 「親睦をもっと深め、心の奉仕を行動で示そう」 会長 西原克甫
副会長 渡邊照芳 幹事 内田憲一

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F

TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島

TEL. 055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

第1046回 例会 2011.5.27 (金)曇

司会:久保栄子君 指揮:山本 章君

ロータリーソング 「日も風も星も」

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 西原克甫君

こんにちは、五月も最後の週になりました。なんとなく穏やかな気持ちになります。

《音(わくわく)と意味(どきどき)が響き合うオノマトペの世界》

「朝食にこんがり焼いたさくさくのトーストを食べた」……………



普段、何気なく使っている擬音語・擬態語をフランス語でオノマトペ(onomatopée)と言うそうです。世界の中でも日本語には特に多く、欧米語や中国語の3~5倍存在するといわれているそうです。

最初の音節で最大の効果を発揮

日本語は、他の言語に比べて音節の数が50音、濁音、半濁音などを合わせて112と圧倒的に少なく、この貧弱な音節を補うために多くのオノマトペが作り出されてきたそうです。

古くは「古事記」にも登場しており、各地域にもその地域ならではの豊かなオノマトペが残って居るようです。

*擬音語: 音を表現

ぶつかる音	目覚まし時計
どーん	じりりりり
どすん	ぶるるるる
がつん	りーんりーん
ばーん	ぶるぶるぶる
どすっ	びびびっ
がたん	びこびこ
こつん	びろびろ

割れる音
がしゃん
ばりーん
がちゃーん
がっしゃん
ばりっ
ばかっ
ばきーん

*擬態語: 様子や状態を表現

歩く	食感
てくてく	しゃきしゃき
すたすた	まったり
そそくさ	しこしこ
とぼとぼ	しっとり
うろうろ	ぱりぱり
たらたら	とろり
だらだら	ふわふわ

触感
つるつる
さらさら
ごろごろ
ざらざら
するする
ほわほわ
ごりごり

語尾の変化で広がるニュアンス

オノマトペは「もと」の言葉に語尾がつくことで、さらに豊かなニュアンスを作り上げているそうです。例えば、紙をめくる音やものが落ちる音などに使う「パラ」の語尾を変えるだけで違う表現ができます。

「ッ」 瞬間的、区切り目が付くニュアンス

例 パラッとページをめくる

「リ」 まとまり感、落ち着いたニュアンス

例 パラリとページをめくった

「ン」 動作や状況が終わったあと、結果や余韻が残るニュアンス

例 パランとページがめくれた

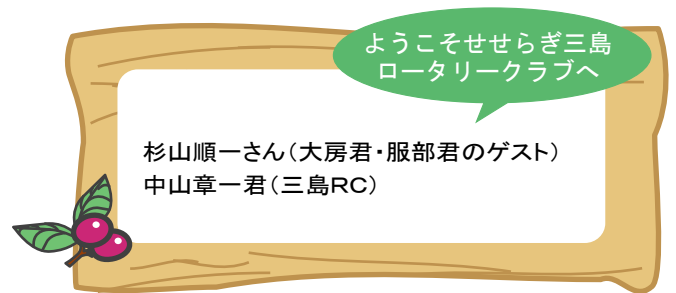
「もと」の繰り返し 今まさに続いているというニュアンス

例 パラパラとページをめくる

上手に使ってコミュニケーションの達人になりましょう。

音や心体の感覚を表そうとしたとき、ないと困るオノマトペ。親しみやすく、生き生きした“感じ”が伝わるオノマトペには、場をなごませ、コミュニケーションを円滑にする効果があります。日本語の特徴であるオノマトペを、TPOを心得て上手に使い、表現力を高めて下さい。

以上気になる「コラム」からご紹介いたしました。



ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

杉山順一さん(大房君・服部君のゲスト)
中山章一君(三島RC)

| 出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	23/31	74.19%	28/31	90.32%
今回	29/30	96.67%	会員総数	33名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

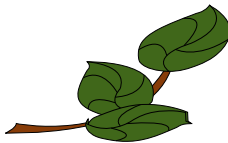
幹事報告

幹事 内田憲一君

1. 各委員長様には年間事業報告及び報告書の提出をお願いします。第3週に発表していただきます。
2. ロータリーの友社で「私の愛用品」の記事を募集しています。
お仕事やプライベートで好んで使っている品と写真とコメントをお寄せください。
コメントは50~100字程度で。
hensyu@rotary-nootomo.jp
までご投稿ください。

おめでとう

会員誕生日 5月31日 山口辰哉君



スマイルボックス

矢岸貞夫君:組織規定検討委員会で定款細則内規の改定案が中村パスト会長及び宇都宮さんの協力を得て出来あがりしました。皆様に開示し理事会に計り承認を得るだけになりましたので宜しく願いいたします。

兼子悦三君:今日は私の卓話だそうです。もう23年も卓話をやっていると話す事がありません。今日は眠って聞いてください。

山田定男君:不漁続きです。

内田憲一君:任期があと1ヶ月です。がんばれ東北！ありがとうございます。

Dテーブル:先日、会長幹事及び山田次年度幹事にも出席していただきテーブル会をつばさ寿司にて行いました。残金スマイルします。

中山和雄君:本日早退させていただきます。静岡で調査士の総会の為。よろしくお願いいたします。

委員会報告

組織検討委員会 委員長 矢岸貞夫君
片野誠一君

文部科学省から「平成22年度キャリア教育優良団体」として表彰され、地区からは「特別会長賞」を受賞し、更には3.11東日本大震災では支援物資を会員の米山さんはじめ4名の方が南三陸町に届け、この記事が地区の「ホームページ」や「ガバナー月信」に掲載されるなど、西原年度は充分な実績を挙げてこられました。組織規定規定委員会でも2010年に規定審議会が開かれ、それに基づく手続要覧が配布されましたので、CLPを見直すよい機会でもあります。クラブでも定款、細則、内規を改訂する作業に着手しました。然し、このたびの「クラブ細則」、「内規」の改訂(案)は次々年度会長より採用されるものとします。次週6月3日(例会、理事会)までにご一読の上、ご検討下さる様よろしくお願い致します。

1、「ロータリー・クラブ定款」改訂(案)は2010年規定審議会に基づく改訂です。憲法のようなものであり、1クラブでは変更が出来ません。従って2007年度版「ロータリー・クラブ定款」と何処の箇所が改訂されたかを「新、旧」比較しながら列挙してみました。

(1)第5条で4大奉仕から新世代奉仕が加わり、5大奉仕に変わった事

(2)出席規定の免除が65才以上の年齢の会員に限った事

(3)出席報告が変わった事

などが改訂されました。

2、「せせらぎ三島ロータリー・クラブ細則」改訂(案)は標準ロータリー・クラブ定款、RI定款、RI細則、及びロータリー章典と矛盾しない限り、クラブ自身の事情に応じて変更する事ができます。改訂の理由はCLP導入が会員に理解されてこなかったという経緯であります。この機会にCLP以前に導入してきた委員会構成表に戻し、更にはクラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会の復活を提言する改定案としました。

(1)理事会は会長、直前会長、会長エレクト(副会長、クラブ奉仕委員長を兼任)、幹事、会計及び会場監督、更には職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長の各理事9名と、副幹事、親睦委員長、プログラム委員長3名が各役員となり構成されます。

(2)委員会もクラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会とCLP以前の委員会構成としました。

3、「内部規定」改訂(案)は細則が変わる事に付随する理事会メンバーの確認、組織規定検討委員会、監査委員について追加しました。

本日は堅い話は止めておき、軽い話をさせていただきます。本来なら6月10日の卓話担当の沢田さんの話が面白いので任せたいのですが、私は良い話がありませんし、私の卓話が先になりますので、私我先取り致します。

さて、河北義則さんという作家が書き下ろした「男の品格」という本があります。今から5年ほど前に出版されたものですが、なかなか面白い本です。もし、もうすでにお読みになった方は居眠りでもしててください。

今私たち日本人は、東北大地震によって未曾有の困難と闘っています。そんな中で現在の日本の男子に足りないものは「遊び心」ではないでしょうか？若い人はボランティア等には大変熱心ですが、若い人たちの均一生活は何か変なような気が致します。日本の男子に足りないものは「遊び心」だと言われています。

皆様は金曜日の夜になるとネオンを求めて出歩くことがあると思います。日本の都市の大部分のネオンが消えていくように見えます。こんな時ですので、ネオンが輝く街に足を踏み入れてみたいものです。ネオン街も少しずつ減っていますが、私たちはそんな時こそネオン街で身体を癒したらいかがでしょうか。そうすることによって心の余裕が出るような気が致します。たとえば電車やバスに乗っても、にこっと笑ってお年寄りや女性に自然に席を譲る。それが男のゆとり心ではないでしょうか。人間は仕事に夢中になることも大切ですが、ゆとり心を失ったら視界が狭くなってしまいます。このゆとりは車のハンドルに「遊び」があるように、人生の運転にも「遊び」が必要なわけです。遊び上手な男は仕事ができる。当クラブにもそれに該当する人たちは大勢いると思います。ここで名前を挙げてしまうと問題になる人もいるかもしれませんので、あえて挙げません。

昔から粋という言葉と野暮という言葉があります。男にはそれを言われると絶対に頭に來るというセリフがあります。それは「男らしくない」というセリフだそうです。特に女性から絶妙のタイミングで言われてしまうときは、下手をすれば血の雨が降る。それくらい男にとって言われたくない言葉だそうです。もう一つ言われたくない言葉は「野暮だね」というセリフです。皆様はこれらの言葉を他人から言われた経験はありませんか？

どちらにしても野暮は今風に言えばダサイの言葉がびったりです。要するに「洗練されていない」のが野暮です。男はモテる決め手として粋を装うことが多いが、身につけていない粋な振る舞いは「粋がる」と言って馬鹿にされる材料となります。男は粋であるに越したことはないですが、身につかない粋なら返って野暮に徹していた方が魅力的であります。何故ならば、自然体で振舞えるからです。

当クラブにはワインのソムリエの久保さんがいらっしゃいますが、ワインをあまり分からない人が格好つけてわかった振りをし、「このワインはうまい、まずい」と言うのは滑稽です。日本人にはこういう人種が多いと言われています。アルコールを飲む時はやはり異性が側にいるとおいしいし、雰囲気よくなると言われています。異性と付き合っていると若々しさを保つと言われていいます。異性について川北さんは次のようにおっしゃっています。

「男と交際しない女は少しずつ色あせる。女と交際しない男は少しずつバカになる」

異性と付き合うことでお互いに緊張するから、立ち居振る舞いにも気をつけるようになる。おしゃれにも気を配る。そんな神経の使い方が、いつまでも若々しさを保つことにつながるのだ。いくつになっても異性に關心を抱く男はそれだけ元気印である証拠なのだ。よく女性のセックス欲は「灰になるまで」と言うが、男の異性への關心も息が絶えるまで続くという。ある時、百歳の老人にインタビューする企画があって「趣味は何ですか」と尋ねたら、ちんどん屋一筋できた老人が「私の趣味は女。女がいたからこそ生きてこられた。今でも女と付き合っている。」と答えて周囲の人を驚かした。この人によく聞いてみると、付き合いとは「会話をする」とか「手を握る」程度のことだったそうですが、男は死ぬまで異性への關心を持ち続けるべきです。

最近五十代、六十代で女性に対して「戦意はあるが、戦力が整わない」という状態になる人が少なくない。この異性への關心は消えていないが、戦力が整わない状態が続くと、休息に関心までなくしてしまう。それが一番の問題でそうなると急速に老化が進行する。結局、關心をどこまで持ち続けるかの勝負になってくる。

人間の一大特徴は好奇心を持つことである。好奇心を持つことで、人類は進歩・発展してきた。人間の脳は好奇心を持ち続けることで活性化される。異性に関しても戦力が整わなくても關心を持ち続けることで、活性化する可能性は十分にあると言える。決してあきらめないことが肝心である。

皆様もご存知だと思いますが、精神科医の斉藤茂太さんが長寿を保っている人たちを観察しました。長寿を保てる人の特徴として「心に余裕」のある人々であると結論付けています。斉藤さんは心の余裕とは具体的にどういふものか、次のように述べています。「具体的に言えば、人付き合いがうまい。つまり友人が多いこと。絶えず前向きな姿勢を持っていること。本業以外の趣味を持っていること。他人のせいにはしないこと。好奇心が旺盛なこと。ストレスを恐れず、むしろ楽しむこと。仕事を道楽と心得ること。ユーモアを忘れないこと。何事にも後悔しないこと。」

さらにそのためにどうしたら良いのかの処方箋として「STRESS」の六文字で表現して、次の項目を挙げています。

- S・・・スポーツ
- T・・・トラベル（旅行）
- R・・・リクレーション
- E・・・イート（食べること）
- S・・・スリープ（よく眠る）
- S・・・スマイル（笑う患者ほど病気の治りが早い）

どれも楽しむこと、遊びに通じることばかりです。

どうか皆様も長生きし、人生を楽しむためにはぜひこれらを忘れず頑張ってくださいと思います。私もできる限り頑張って、人生を楽しみたいと思っています。久しぶりで軽い話でありましたが、「男の品格」という本を参考にしながら話を致しました。前年は堅い話で時間がなくて止められていて、今日は時間を残しての卓話となりましたが、勘弁していただいていた話が終わりにしたいと思います。

